

No.	側面 (分類)	チェック項目	取組例	現在実施している具体的な取組 今後実施予定の取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
10	経済 社会	ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化など、業務の効率化やビジネスモデルの変革などに取り組んでいる。	・顧客の情報をデータ化することによるテレワークやフリーオフィス化の推進 ・ICT機器の導入による従業員の作業時間の短縮	・テレワークやフリーアドレス化の推進 ・経済産業省が定めるDX制度認定に基づく「DX認定事業者」に認定								●	●		●	●							
11	社会	若者の就業や移住を促進するため、UIJターンの推進など、若者の定着に向けた取組を行っている。	・インターンシップの受入 ・市外在住の求職者への説明会の実施 ・WEBなどを活用した若者向けの情報発信	・インターンシップの受入 ・県内の子どもたちの郷土愛を醸成するためキッズアカデミーの開催 ・地域の子どものスポーツ活動を支援するため「しずぎんカップ」に協賛 ・県内の高校生と次世代経営者塾「Shizuginship」会員がチームを組み、テーマに対する企画づくりを行う静岡魅力探究プログラム「アオハルし放題」の開催				●				●		●									
12	社会	疫病予防や早期発見、良好なメンタルヘルスの維持など、従業員の健康維持に取り組んでいる。	・ストレスチェックの実施 ・メンタルヘルス研修の実施 ・メンタルヘルス疾患に対応した休職規程の整備	・産業保健スタッフによる相談体制の整備や休職者の復職支援 ・生活習慣病予防に向けウェアラブルデバイスを全役職員へ配布 ・健康経営宣言を定め、各種健康増進施策に取り組むことで一人ひとりの「Well-being」の実現を目指す			●					●											
13	経済 社会	全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、社会に役立つ情報の外部への発信やインターンシップの受入れなど、社内外にわたる人材の育成に努めている。	・職務、役割等に応じた研修の整備 ・通信講座や社外セミナーへの費用補助等、従業員が学習する仕組み、学習を支援する仕組みを構築する	・職務、役割等に応じた研修の整備 ・通信講座や社外セミナーへの費用補助等、従業員が学習する仕組み、学習を支援する仕組みを構築する				●				●											●
14	社会	反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など、法令を遵守する体制を整備している。	・コンプライアンスについて社内規程の策定 ・コンプライアンス研修の実施 ・コンプライアンス違反通報窓口の設置	・取締役会で毎年コンプライアンスプログラムの策定 ・コンプライアンス研修の実施、オビニオンボックスの設置 ・コンプライアンスの基本方針として倫理憲章を定めている ①信頼の確保②法令・規程の遵守③豊かな社会常識と公平無私な心 ④反社会的勢力等との関係断絶⑤活発なコミュニケーション								●		●							●		
15	経済 社会	自社のSDGsの取組をマネジメントする担当者や担当部署を設置し、取組計画の策定、運用を行っている。	・サステナビリティ推進委員会等の推進組織、担当部署、担当者の設置 ・推進計画に基づく取組の運用	・持続可能な地域社会の実現および企業価値の維持・向上に向けて取り組むべき重点課題（マテリアリティ）を特定し、経営戦略に反映させている	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
16	経済 社会 環境	自社の環境、社会、ガバナンスに関する取組を社外に公開している。	・自社の環境情報の公開、人権、労働に関する取組、リスクマネジメント体制のガバナンス情報等をHPで公開している	・コーポレートガバナンス体制、内部統制システムの整備に係る基本方針をHPで公開												●							
17	自由 記述	環境 ・ 経済 ・ 社会																					

※現在実施している具体的な取組又は今後実施予定の取組について、以下の2点を満たしたうえで提出してください。

- ①経済・社会・環境の3つの側面それぞれについて、取組を設定していること
- ②10項目以上記載すること